

# 静岡市立清水袖師小学校



## 出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和7年7月15日(火)

静岡市立清水袖師小学校の児童が、昔の人々の暮らしを体験することを目的に、土器の分類体験 石器の試し切り体験 火起こし体験を行いました。



### 土器の分類体験

縄文土器、弥生土器、須恵器の3種類の土器片を完形土器と見比べて分類する体験をしました。

#### <児童の感想>

縄文土器はすぐに分かったけど、弥生土器と須恵器が結構似ていて苦戦しました。一つ一つ音や色、触り心地などの違いに気づけて楽しかったです。作り方の違いが影響していることを知りました。

### 石器の試し切り体験



黒曜石製の石器で紙や野菜を切る体験をしました。

#### <児童の感想>

試し切りをする前は、「本当に切れるのかなあ」とあまり期待をしていなかったけれど、実際に新聞を切ってみたら「カッター並みに切れる！」野菜の皮を切ってみたら「カッターを超えて包丁。もうカッターも包丁も必要ないんじゃないの？」と思いました。昔の人はこれを使ってどんな調理をしていたのか調べてみたくなりました。

### 火起こし体験



舞錐(まいぎり)法という方法で、火起こし体験をしました。

#### <児童の感想>

人生で初めて火起こし体験をしました。「冒険少年」という番組で火を起こしている見ていたら「簡単そうだな」と思っていたけど、実際にやってみるととても難しくて、たくさん時間がかかって大変でした。今はアツという間に火を付けることができ、便利な時代だな、と改めて思いました。

#### <先生方の感想>

「縄文時代」と「弥生時代」の学習を終えてからの体験でした。みんなと話し合ったり、自分たちで調べたりしながら理解を深めていったことも、実際に体験をすることでより理解が深まり、興味が沸いたようです。その時代を生きることの苦労や知恵が次に時代に生き、進化していく、それが積み重なって今に繋がっていることも大変分かりやすく教えていただきました。

